

派遣先所属 福島県双葉郡浪江町役場 産業振興課  
氏 名 関口 翔太 (せきぐち しょうた)  
派遣期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

派遣先の産業振興課は3つの係に分かれており、商工労働係では商工業や観光事業に関する企画調整、事業開始・再開支援、地場産業振興等、産業創出係では産業団地の整備・管理や企業誘致を、新エネルギー推進係では再生可能エネルギーやゼロカーボン、スマートコミュニティの推進を行っています。私は令和5年4月に商工労働係に配属され、町独自の補助金の申請受付、審査や、事業者が県や国に提出する補助金申請内容の確認、町内での事業開始・再開の相談受付、浪江駅周辺整備事業で整備予定の商業施設に関する業務を行っています。

商工労働係は令和5年9月現在で9名（うち常勤7名）が在籍しています。うち、浪江町の常勤プロパー職員は2名で、他は任期付職員や他自治体、民間企業からの派遣職員で構成されており、バックグラウンドの異なる職員が力を合わせて日々奮闘しています。

次の章でも触れますが、私が派遣されている福島県浪江町は、福島第一原発事故の影響により、平成29年3月まで全町避難となっていました。町の産業が一度失われたなかで、町に戻って事業を再開し、また新たな事業を町内で開始しようとする方々のため、各種優遇措置が整備されています。それらを適切に運用し、町に商業やサービスを生み出し、取り戻していくことが私の仕事の1つです。また、町の中心駅であるJR常磐線浪江駅の周辺を整備する計画では、駅前に大規模な商業施設を整備することを目指して動き出しています。現在の予定では、令和9年度より運用開始することを目指しており、大規模な計画の基礎となる業務に携わることに責任の重さを感じています。

派遣前に埼玉県職員として6年間勤務しましたが、現在のような産業振興の業務の経験はありませんでした。知らないことがほとんどで、応援職員としてどの程度貢献できているのか自問することもあります。必要な知識を習得し、上司・同僚の支援を得ながら日々過ごしています。直接の担当業務のほかに、町としてイベントにブースを出展する際にスタッフとして参加したりすることもあり、興味深い経験となっています。相双地域の一大イベントである相馬野馬追には裏方として従事し、非常に貴重な経験となりました。

## 2 被災地の復旧・復興の状況

ドライブなどで福島県の中通りや会津を訪れた際に震災の名残を感じることはありません。逆に浪江町も含めて福島第一原発事故で長期間にわたり避難生活を強いられた場所では、未だにその爪痕を感じます。浪江町では、震災後約6年にあたる平成29年3月31日に避難指示解除準備区域と居住制限区域の避難指示が解除されました。その後、多くの建物が解体され、震災前にあった町並みは一変し、現在でもブロック塀だけが残された宅地や時が止まったかのように残された家々が多くみられます。そのうえ、津波被害が大きかった沿岸部は居住できないエリアに指定され、原発事故により生じた帰還困難区域は未だ町の面積の多くの部分を占めるなど、震災から12年経っても帰りたいのに帰れない人がいます。震災前に約21,000人いた町の人口は、令和5年になって2,000人を超えましたが、それでも約9割減という厳しい現実があります。

一方、町の歩みは確実に前へ進んでいます。避難指示解除から徐々に人口が増え、飲食店をはじめとした商業施設、スーパー、道の駅ができ、産業団地には多くの企業が進出しています。国家的プロジェクトであるFH2R（福島水素エネルギー研究フィールド）が町内で稼働開始し、本年4月にはF-REI（福島国際研究教育機構）が開所するなど、日本の科学技術・産業をより高いレベルに引き上げるその中心都市となっていくことが期待されます。浪江駅の周辺には、F-REIや既述の大規模商業施設のほかに施設整備計画が動いており、今後数年の間に町内の様子はまた大きく変わるでしょう。その歩みの一端を、微力ではありますが担えることを光栄に感じています。

## 3 被災地への派遣となって感じたこと

埼玉県から浪江町に派遣された職員は、私含め本年度派遣された2名が初めてでした。プレッシャーもありますが、役場や関係者の皆様の御支援のおかげで気持ちよく仕事をさせていただいています。

個人としては、まず浪江町を知り、福島県・東北地方を見ていきたいという思いから、時間を見つけて様々な場所を訪れるようにしています。町内ほぼ全ての飲食店を利用し、福島県内全ての自治体を訪れ、東北地方の道の駅を全て訪れました。そのなかで、それぞれの場所の魅力を発見できました。今回、派遣でこの機会をいただいたことに感謝しています。

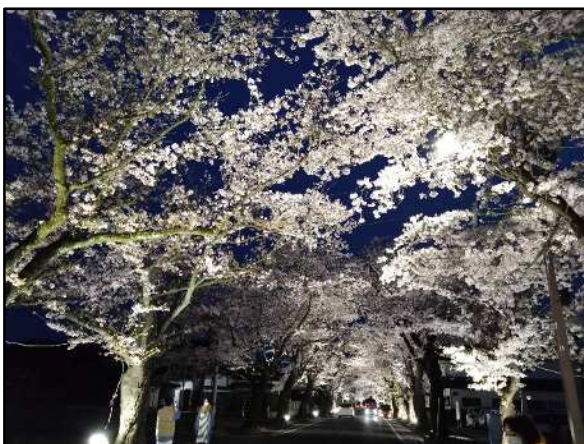
立場上、浪江町の今後の歩みにずっと今のような形で関わっていくことはできませんが、この町で発見した素晴らしさをどのような立場になっても発信し、何かしら力になれることを引き続き支援していきたいと思えます。



【震災遺構「請戸小学校」(浪江町)】  
1階は完全に津波で水没、窓が割れている。



【浪江名物「なみえ焼きそば」】  
B級グルメグランプリ受賞歴がある。



【夜ノ森地区の夜桜 (福島県双葉郡富岡町)】



【五色沼の紅葉 (福島県耶麻郡北塩原村)】



【銀山温泉 (山形県尾花沢市)】



【仏ヶ浦 (青森県下北郡佐井村)】